

第7回 ふくまる夢たまごセミナー



日時 11月17日(金) 18:00~20:00
場所 池田府市合同庁舎7階大会議室

内容 おもしろ授業実践 PART2
～特別の教科道德の授業づくりを通して～

講師 中野 正敏 氏 (池田市教育委員会 指導主事)



参加の塾生は、13名、7階大会議室で授業が始まりました。

今回は、池田市教育委員会の中野正敏指導主事をお招きし、「おもしろ授業実践 PART2 ～特別の教科道德の授業づくりを通して～」をテーマに先生がこれまで積み重ねてこられた授業づくりや学級づくりについてお話していただきました。

セミナーは「道德教育とは何か」という「問い」からスタートします。塾生は自分たちが小中学校時代に受けた授業や大学で学んだ事をもとにペアで話し合い、発表しました。「道德教育は全教育活動を通じて行うことが大切」だと中野先生は続けます。そして、道德をはじめ、各教科で位置づけられている「見方・考え方」を子どもたちにどうやって身につけさせていくか、日常生活の中にある様々な情報の中から、教材に組み込むことができるものはないかを考え、子どもたちが切実感をもって取り組む授業を作ることが重要だと教えてくださいました。

スポーツの名場面を切り取って、各教科の見方・考え方を考えた際には、写真を各教科の見方・考え方で捉えると、見方が豊かになることを教わりました。

国語科

社会科

算数科

理科

音楽科

その他

国語的に考えれば、このシーンに合う言葉は何かを考える活動、音楽的に捉えれば、曲調や歌詞によって感じ方や表現が変わることを考える活動、理科では、力の働き方について考える活動もあり、社会的に見れば、それぞれの国の文化などがあるということなど、同じものでも各教科の「見方・考え方」で捉えれば、そこには様々な世界が広がっていることを塾生たちは知ることができました。

「美」とはなにかという切り口で考えた際は、中野先生からの「最高に美しい1枚の写真を選ぶ」という活動を通して、塾生同士も自分たちの見方・考え方はいろいろあることを理解し、対話を通して学びを深めることができました。



道徳的な見方・考え方を育む力には、「道徳的感度を高めること」が重要だと捉えて中野先生は授業づくりを続けてこられたそうです。日常生活で出会う様々な場面に対し、子どもたちがどのように見方・考え方を働かせていけるか、その豊かな感性を引き出し、育てるためには、指導する教師の道徳的感度も重要になります。

最後に中野先生から塾生たちに、子どもたちの思いをどこまで汲み取ってあげられるか、時にこちらの意図していない発言や行動に出会った時に、指導して抑止するのか、しばらく見守るのかなど、「どこまで許せるかという事」も大切だと伝えられました。そして、子どもたちが自分たちで考え、子どもたちで答え【納得解】を導き出すことが大切だということ、すべての教科において、子どもたちの心を震わせる授業、体験を積み重ねてあげてほしいとまとめられセミナーを結ばれました。

<塾生の感想から>

- 子ども同士、教師と子どもの関係が大切なことはもちろん、子どもがそれぞれ抱えている背景や心情をひきだすことが大切だと気付くことができました。
- 道徳と聞くと、どうしても教科という視点でどう教えるかということを考えてしまうが、日頃の生活から学べることが多くあるのだということを知ることができました。
- 「問う」ことの難しさや深さを実感したとともに、生徒たちと「本質的な問い」を追い求めながらともに成長できる先生になりたいと感じました。
- 道徳的な見方・考え方を育むために、自分では身の回りのことにアンテナを張ったり、生徒の心情や考えを汲み取ったりすることができる先生になりたいと思いました。